

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	スーパー制限酵素を用いたゲノム・マニピュレーション工学の創成
研究代表者	小宮山 真
審査の所見	<p>本研究は、応募者が開発してきた DNA の位置選択的切断を可能とする人工制限酵素をベースとして細胞内におけるヒトゲノムの選択的切断やゲノム変換、さらには遺伝子治療へと研究の展開を図るもので、これによりゲノム・マニピュレーション工学を創成することは世界的にも先駆的な研究であると言える。応募者は、国際的評価の高い研究業績を挙げてきており、本研究の実施によりさらに大きな成果を得るものと期待できる。本研究の発展は、生化学分野における汎用的実験ツールを提供することにも繋がり、当該分野に大きな影響を与えるものと考えられるため、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p>